

かながわ外国人材活用支援ステーション の取り組み

2026年6月12日（金）

外国人材活用入門セミナー（横浜市）



公益財団法人

神奈川産業振興センター

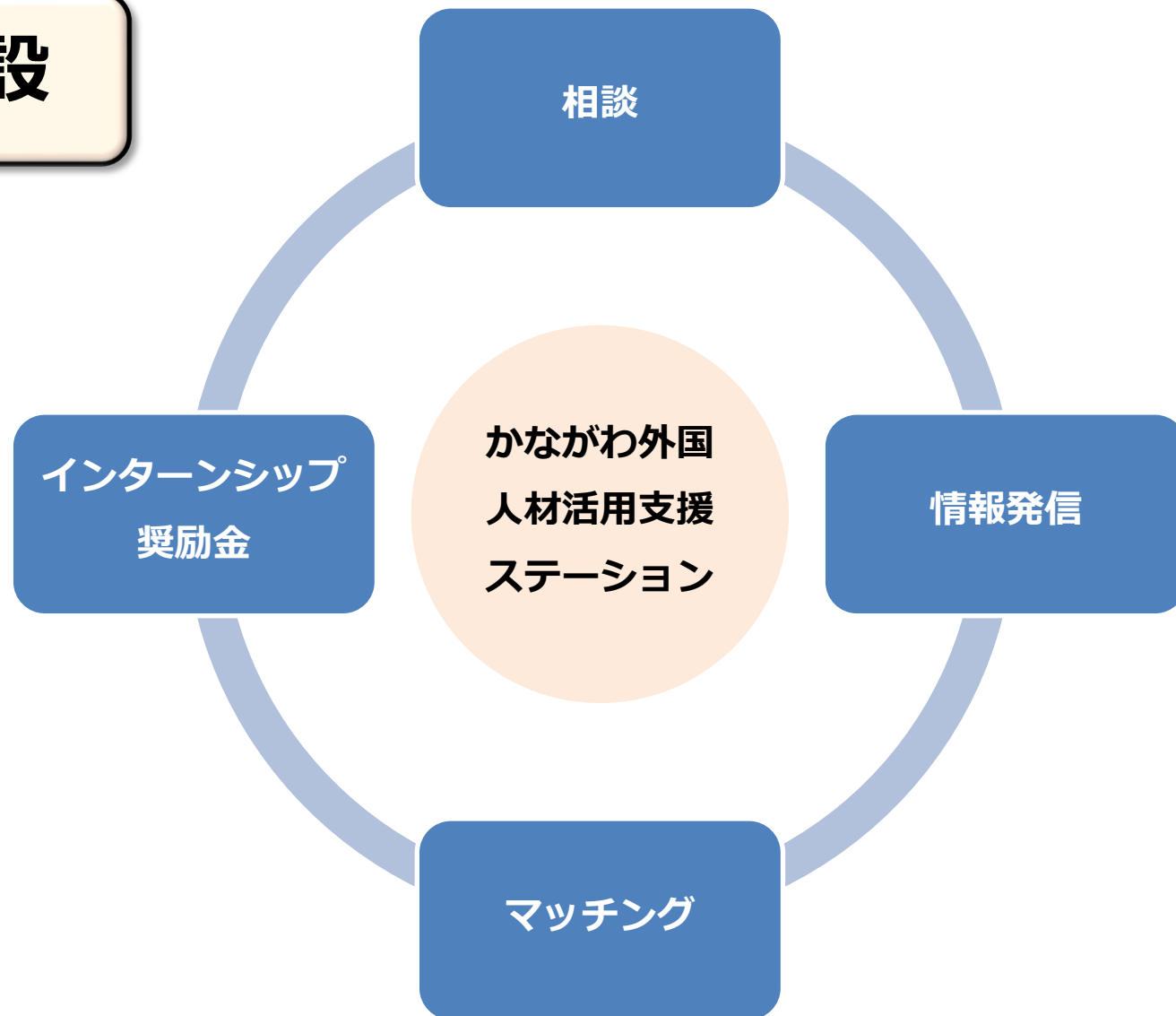
Kanagawa Industrial Promotion Center

かながわ外国人材活用支援ステーションの概要

2025年4月開設



KIPホームページ



かながわ外国人材活用支援ステーションの取組み①

相談

採用未経験から雇用定着まで、企業のステージに応じてワンストップ相談で対応いたします。行政書士や企業実務経験者等、知識豊富な相談員が親切にアドバイスを行います。

たとえば

採用未経験企業から・・・

- ・ 人手不足解消のため外国人を雇用したいが不安、大丈夫？
- ・ 在留資格や手続き、費用はどれくらい必要？
- ・ 自社に適している外国人材は？（技能実習？特定技能？技人国？）

外国人を雇用している企業から・・・

- ・ 現在雇用している人材を定着させたい
- ・ 社内規定の多言語化を行いたい

かながわ外国人材活用ステーションへご相談を！

かながわ外国人材活用支援ステーション相談員



高橋 恵介 相談員

専門分野

外国人受け入れ環境整備

経歴

総合電機メーカーにて多言語通訳コールセンターの立ち上げを担当。中央省庁・自治体の委員や事業に参画。2021年より厚生労働省調査研究会委員。



黒柳 澄江 相談員

専門分野

在留資格申請支援

経歴

独立行政法人や損保会社、司法書士事務所を経験。2022年に「すすすみ行政書士事務所」を開業。神奈川県行政書士会国際部に所属。



岡田 正幸 相談員

専門分野

中小企業の就業規則作成、労務相談、在留資格申請支援、各助成金活用コンサルティング

経歴

銀行や海外協力隊、国際人道支援事務所を経験。2017年に行政書士登録、2023年に社会保険労務士登録。

かながわ外国人材活用支援ステーションの取組み②

マッチング

現地合同会社説明会やオンラインによる合同会社説明会を開催し、アジアを中心とした各国の学生やキャリアの方々（高度人材）と交流する機会を設定いたします。

面接会

現地・オンラインの両面で人材紹介会社や現地教育機関等と連携し、学生と直接マッチングする機会を提供します。

個別マッチング

各企業個別の要望に応じ、ステーションの連携先人材紹介会社を紹介します。

昨年度の海外現地面接会(ベトナム・モンゴル・インド)

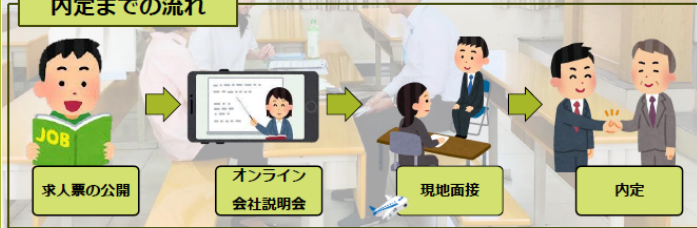
ベトナムにおける現地面接会 参加企業募集



ベトナムで採用活動をしていませんか？

かながわ外国人材活用支援ステーションでは、県内企業による高度外国人材獲得を支援しています。本事業ではベトナム人高度人材の採用を目的に、現地面接会を開催します。外国人材の採用に関心のある企業の参加をお待ちしております。

内定までの流れ



開催日時	2025年9月17日(水)～18日(木)
開催場所	ベトナム ハノイ市
参加費用	無料 ※渡航費・滞在費・成約時の紹介手数料等は除く
募集期限	2025年6月30日(月)締切 10社程度
対象企業	神奈川県内の中小企業(主に製造業)
対象人材	<ul style="list-style-type: none"> 理工系大学や大学院等の学生(既卒含む) 在留資格「技術・人文知識・国際業務」の取得を見込むもの 職種の例 エンジニア(機械・IT・電気・電子)など 教育機関 ハノイ工科大学など

【詳細はコチラ】

【主催】
 神奈川県 公益財団法人神奈川産業振興センター

【運営協力】
 株式会社アイテム

【お問い合わせ先】
 かながわ外国人材活用支援ステーション

ご参加いただいた企業様の声

・「ここまで優秀な人材に会えると思わなかった。」
 ・「申込みをするだけで、準備から当日の面接、インターンの受入れまで経験できた。」など
ご関心がある方はぜひお問い合わせください!

モンゴル3高専生との インターンシップ現地面接会 参加企業募集



かながわ外国人材活用支援ステーションでは、県内企業による高度外国人材獲得を支援しています。モンゴル3高専の学生と、採用を見据えたインターンシップ受入を目的に、現地面接会を開催します。

現地面接会		参加の流れ
渡航日程	2025年11月5日(水)～8日(土) 3泊4日	
開催場所	モンゴル ウランバートル市	
募集期限	2025年8月8日(金)締切	
対象企業	神奈川県内の中小企業(主に製造業) 10社程度	
対象人材	<ul style="list-style-type: none"> モンゴル3高専の学生(既卒含む) 日本企業への就職希望 在留資格「技術・人文知識・国際業務」の取得を見込むもの 職種の例 エンジニア(機械・IT・電気・電子)など 	
旅行代金	おひとり様 250,000円(程度) <参加人数10名の場合> <small>※旅行代金は参加人数により変動するため、予めご了承ください。</small> <ul style="list-style-type: none"> 旅行代金に含まれるもの 航空券・宿泊費・食事代など 旅行代金に含まれないもの 海外旅行保険料・通信費など 	
インターンシップ		2025/9 オンライン 会社説明会
受入時期	2026年1月13日(火)～23日(金)	↓
受入場所	各社指定の就業場所(神奈川県内)	2025/11 現地面接会
受入費用	渡航費・宿泊費・国内交通費など ※企業負担分	↓
奨励金	1社20万円を上限とした奨励金制度あり	2026/1 インターン シップ
		↓
		2026/3 内々定

モンゴル3高専について

日本の高等専門学校をモデルケースとして、2014年に開校したウランバートル市内の3つの高専。「機械」「電気電子」「土木」「バイオ」「化学」「情報」の6学科に約1300名の学生が在籍。ABUロボットコンテスト出場校。

日本の高専と同等のカリキュラム

5年間の日本語教育

6年間で150人以上が日本に就職

7割が日本企業への就職希望

「技・人・国」の在留資格の取得可能

- モンゴル科学技術大学付属高専
- モンゴル工業技術大学付属高専
- 新モンゴル高専

【詳細はコチラ】

【主催】
 神奈川県 公益財団法人神奈川産業振興センター

【運営協力】
 株式会社BRAIST

【お問い合わせ先】
 かながわ外国人材活用支援ステーション
 TEL: 045-633-5142



神奈川県での就労を希望するインド高度人材と、インド高度人材の採用を希望する県内中小企業との間で、相互理解と信頼に基づくマッチングの機会を提供し、円滑な採用促進を図ることを目的として開催いたします。外国人材の採用に関心のある企業の参加をお待ちしております。

開催期間	2025年10月27日(月)～30日(木) 説明会・面接会・交流会: 10月29日(水)
開催場所	クマラサミー工科大学 ※インド共和国
参加費用	無料 ※ただし、渡航費・滞在費・成約時の紹介手数料等を除く
募集期限	2025年7月31日(木) 締切
募集企業	10社程度 (神奈川県内の中小企業を対象)
対象人材	新卒者(2026年5月に卒業見込みの理工系大学4年生) 既卒者(理工系大学の卒業生) ※専攻分野 電子通信工学、人工知能、情報技術、計算機科学工学、機械工学

【主催】
 神奈川県、公益財団法人神奈川産業振興センター

【運営協力】
 株式会社リード・エス

【お問い合わせ先】
 かながわ外国人材活用支援ステーション
 TEL: 045-633-5142

かながわ外国人材活用支援ステーションの取組み③

インターンシップ 奨励金

各国からの学生を招き、現場でのインターンシップを一定期間実施した場合、企業が負担した費用（宿泊費、通訳費等）のうち、1人につき最大20万円の奨励金を交付します。

2026年度公募開始、4/1～

対象となる企業

外国人材をインターンシップ生として、一定期間受入体験を行う機会を提供した企業。

対象となる インターンシップ生

日本で就労することを目指し、海外の大学・大学院同等程度の学校卒業後、在留資格として技術・人文知識・国際業務（技・人・国）や高度専門職を見込む外国籍の者。



外国人労働者が職場定着していくためには・・・

企業側の重要アクション

外国人材を「単なる労働力」ではなく「一人の生活者」として尊重することで、外国人材の安心感と定着率を向上させることができる。

受入れ体制(ハード・ソフト両面)

【待遇・福利厚生】: 定期昇給やキャリア支援、一時帰国旅費補助など

【住環境】: 便利な立地選定や1人部屋提供(プライバシー配慮)など

【日本語教育】: 座学だけでなく、対話形式によるコミュニケーション

【相談体制】: 社内相談者の配置など、日常的なヒアリングによる不安の早期解消

【地域連携】: 地域コミュニティや地域行事への参加促進

定着のための取組み

外国人労働者の職場定着に関わるセミナー
(かながわ国際交流財団との連携)

かながわ外国人材活用支援ステーション2025年度実績

< 相談件数等 >

区分	年度	2025
相談件数		566
面接会等による内定者数		26



< 現地面接会の開催 >

開催日	会場	内容	参加企業数
9月17日	ベトナム・ハノイ	ベトナムにおける面接会	8
10月29日	インド・カルール	インドにおける面接会	2
11月7日	モンゴル・ウランバートル	モンゴルにおけるインターンシップ面接会	7

県内中小企業の実態とニーズ

外国人材の数 ⇒ 5年で約1.5倍増

在留資格の構成 ⇒ 技・人・国が多く、特定技能、技能実習が少ない

外国人材活用状況 ⇒ 外国人労働者の活用意向は約3割

外国人材雇用理由 ⇒ 人手不足解消が多いが、専門性の確保・生産性向上等、未来志向の理由も多い

外国人材を雇用していない理由 ⇒ 採用方法等が分からないという理由がほとんど

採用したい外国人材 ⇒ ベトナムやインドネシアの技・人・国／高度専門職などにニーズあり

外国人労働者からの視点 ⇒ 日本への就労意欲が高い国はベトナム・タイ・インドネシア

初期相談から職場定着まで一貫した伴走支援でサポートします！

**ご清聴、
ありがとうございました。**

